

板橋区観光振興ビジョン2035（素案）に対するパブリックコメントと区の考え方

1 募集期間

令和8年2月17日（火）～3月9日（月）【21日間】

2 意見等の件数

11件・5人（個人4、団体1）

3 提出方法内訳

持参：3、メール：1、Web：1

4 取りまとめ方法等

- ・誤字・脱字等、掲載する前に一部修正を行っています。
- ・要旨を記載させていただくため、ご意見について一部省略・加筆している場合があります。

5 意見の概要と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方
1	「戦略」ということばを別の言葉に置き換えられないか。	ご意見として承りました。 基本理念の実現に向けて、取組を推進してまいります。
2	ビジョン全体について、板橋区にはスカイツリーのような目立ったものはないものの、各地に散りばめられた地域資源を掘り起こして、板橋の持つ面白みを発信していこうとする姿勢には共感が持てる。 板橋らしいビジョンだと評価している。	ビジョンの全体像について、評価いただきありがとうございます。 板橋区の各地にある地域資源を掘り起こし、かつ、つなぎ合わせていくことで、新たな魅力を創出し、発信してまいります。

No.	意見の概要	区の考え方
3	<p>板橋区が観光振興ビジョンを策定し、地域の将来像を示したことは、地域の魅力を再発見し、地域経済の活性化につなげていくうえで重要な取組である。</p> <p>本ビジョンで示されている「ライフスタイルツーリズム」という考え方は、地域住民の生活文化を尊重しながら観光振興を進める都市型観光の方向性を示したものであり、板橋区の地域特性に適した観光政策である。</p> <p>本ビジョンの方向性を高く評価し、全面的に支持する。</p>	<p>ビジョンの方向性について、評価いただきありがとうございます。</p> <p>板橋区には、魅力的な地域資源があるとともに、スリバチ状の地形や暗渠など、まちの持つ面白さもあります。</p> <p>これら、地域の強みや特性を活かした観光施策を行い、地域の活性化につなげてまいります。</p>
4	<p>板橋区は住んでよし、訪れてよしのまちであると思っている。</p> <p>基本理念にある「ひと、まち、みどりがつなぐ」という部分や「区民にとっては、訪れる人に思わず自慢したくなるようなまちとして、来訪者にとっては、訪れてみたくなるまちとして」という箇所は大いに賛同する。</p>	<p>「ひと」や「まち」をつなぐ文化が根付き、また、河川や公園をはじめとする「みどり」も多く残っていることが、板橋の特徴であり強みであると認識しております。</p> <p>「区民の方にとっては、訪れる人に思わず自慢したくなるようなまち」「来訪者の方にとっては、訪れてみたくなるまち」となるよう魅力を育んでまいります。</p>
5	<p>生活文化を観光資源として捉えるという考え方は、地域住民の日常生活を尊重しながら観光振興を進めるうえで有効な考え方である。</p> <p>観光客が地域の生活文化を体験し、その体験を通じて地域の商店や事業者のサービスを利用することにより、地域経済に新たな需要を生み出す観光モデルを構築することが望ましい。</p>	<p>板橋区には、四季折々の美しさを備えた景観や情緒あふれる商店街、食のブランド「板橋のいっぴん」など、観光客が地域の生活文化を体験できる地域資源が数多くあります。</p> <p>これらの地域資源の魅力を区内外の多くの方に知ってもらうため、多様な媒体を活用して発信するとともに、観光振興がもたらす地域経済への影響や持続的な発展といった観点も含めて、個々の施策を検討してまいります。</p>

No.	意見の概要	区の考え方
6	<p>来訪者にとって、高い技術力を持つ企業は魅力的な見学・体験の対象となり、また、地域に根差した商店街や飲食文化、銭湯などの生活文化は、日本の都市生活文化を体験する貴重な機会となる。</p>	<p>来訪者にとって、区内企業のものづくりの現場を見学することや、商店街・銭湯などの生活文化を体験することは、貴重な機会と認識しております。</p> <p>生活文化・産業活動を体験できるプログラムや、観光ツアーと「食」の体験を組み合わせたプログラムなど、今後、様々な観点から検討してまいります。</p>
7	<p>観光振興を持続可能な取組とするためには、地域事業者や商店街、地域団体などが主体的に関わる体制を構築することが重要である。特に商店街は地域コミュニティの中心的存在であり、地域の日常文化を来訪者に伝える重要な役割を担うことができる。</p> <p>また、観光客が地域を訪れることによって地域住民の生活に過度な負担が生じないよう、観光受入体制を整えることも重要である。</p>	<p>観光施策を展開するにあたり、地域事業者が参画できる環境を整えることは重要であると認識しています。今後、様々な取組を行う中で、事業者との連携を検討してまいります。</p> <p>また、併せて、来訪者が増えることにより、地域住民の生活に過度な負担が生じないようにすることも必要であるため、受入体制の整備を進めていくことが重要と考えます。</p>
8	<p>来訪者は自治体の境界を意識することなく都市を回遊している。</p> <p>そのため、板橋区単独の観光施策だけでなく、周辺地域との連携を視野に入れた観光政策を検討することが重要である。</p>	<p>来訪者が自治体の境界を意識せずに周遊することも踏まえ、周辺自治体や関係機関との連携の可能性も視野に入れながら、観光施策を進めてまいります。</p> <p>また、広域的な視点で観光資源を組み合わせることは、都市観光の魅力向上につながる可能性があるかと認識しております。周辺地域との連携につきましても、今後の取組の中で検討してまいります。</p>

No.	意見の概要	区の考え方
9	<p>本編 P4「過去と未来が交差する新たな価値の創造」について、「板橋区史跡公園」や「産業ミュージアム」の整備は、地域の歴史と産業を次世代に伝える重要な取組で、歴史的価値を活かしつつ、未来の産業創出にも貢献する拠点となり、地域の誇りを高めるとともに、観光資源としても大いに期待できると考える。</p> <p>しかし、その魅力が区内外の方に行き届かなければもったいないと考える。是非、グランドオープン後に、敷地内を散策しながら解説をしていただけるツアーのようなものを実施いただきたい。</p>	<p>区といたしましても、区内外の方に対して、整備予定地の歴史的価値を知っていただきたいと考えております。</p> <p>ご提案いただきました散策ツアーに加え、オープン前につきましても、国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」の一般公開や区産業の技術に触れながら、創造力を育むプレ事業などを実施することで、板橋でしか体験できない魅力を発信してまいります。</p>
10	<p>本編 P6「“交通・交流・みどり”が一体となった交通公園によるにぎわいの創出」について、板橋交通公園が新たに生まれ変わることで、小型モビリティ体験やミニトレインなど、未来の交通を学べる機会が提供される点に大いに期待している。また、カフェや多目的広場、コミュニティファームを整備し、地域の交流の場として活用するアイデアは素晴らしいと思う。</p> <p>しかし、こうした新しい施設や活動が区民に広く利用されるためには、特に若年層やファミリー層をターゲットにしたプロモーションが必要だと感じる。地域の保育園や幼稚園、小学校と連携し、PRしてはどうか。</p>	<p>板橋交通公園につきましては、今後、若年層やファミリー層を含め、プロモーション活動を強化していきたいと考えております。</p> <p>ご提案いただきました「近隣の保育園や幼稚園、小学校と連携し、PR すること」は大変効果的であると思いますので、関係課と情報共有し、具体的に検討してまいります。</p>

No.	意見の概要	区の考え方
11	<p>本編 P10「板橋マニア2(仮称)」と「観光検定(仮称)」によるまちの面白さの発信について、商店街の人情や暗渠、境界、団地など、ディープな魅力に光を当てる取組は板橋らしく大変魅力的である。</p> <p>観光検定も世代を超えて学び直しや再発見につながる企画だと感じます。どちらの企画もコアなファンは問題ないと思いますが、ライトな層にも楽しめるような仕組みにしていく必要がある。</p>	<p>「板橋マニア2(仮称)」では、より深く板橋の魅力を掘り下げつつも、多くの方に楽しんでいただける内容をめざし、策定を進めております。</p> <p>また、「観光検定(仮称)」につきましては、難易度ごとにコースを設定するなど、幅広い世代や属性の方に参加しやすい仕組みを検討してまいります。</p>